



羅針盤 R8(2026)-No.3

チーム玉小のチームビルダー

学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は子供が主人公！  
誰一人取り残さない！ 子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！  
One for all. All for one. One team. チーム玉川小



令和 8年 4月 2日(木)  
昭島市立玉川小学校  
校長 小瀬 和彦

## I Vision Mission Passion

### 1 ビジョン Vision

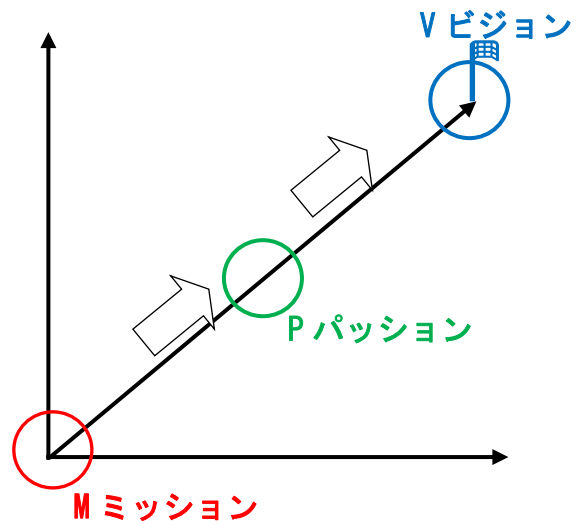
「生涯にわたって学び続け、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働して問題解決を図り、豊かな人生を切り拓き、民主的で持続可能な社会の創り手となる人間」を育成する学校を創っていく。⇒『チャレンジ精神』を発揮できる子の育成

### 2 ミッション Mission

「学校は失敗するところ」、「教室は間違えるところ！」、「授業は子どもが主人公！」、「誰一人取り残さない！」を玉小のミッションとし、教育活動を展開していく。  
児童一人一人のチャレンジ（挑戦）精神を育成するため、児童にはキャッチフレーズとして意識化を図る。

### 3 パッション Passion

「子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！」を判断や行為の判断基準として常に意識する。



## II 2026 チーム玉小を創る:Group から Team へ！

Group: グループは、同じ空間にいる人々の集団。

Team : メンバー全員が共通の「ビジョン」、「ミッション」、「パッション」をもって切磋琢磨して協力し、役割や責任を分担し相互に補完し合うメンバーから構成される組織の形態。

### i ザ・チーム玉小を創る！

「チームビルディング」＝「ビジョン」、「ミッション」、「パッション」を共有し、共通理解・実践を図っていき、令和8年度 チーム玉小を創造していく。

### ii チームを創る

One for all. All for one.

- 1 感情を伝え合う：「ありがとう、よかったよ、素晴らしい、助かったよ」等の感情を伝え合う。
- 2 対話・議論する組織：『子供の成長のため！』を共通目的に積極的に話し合い、議論していく。
- 3 異なる価値観を認める：「理由・背景を明確にし、互いを認め、尊重する。」Respect

### iii 組織感度を高める：そのためには、一人一人が社会状況・変化、未来予測に対する情報を敏感にキャッチし、伝え合い、組織感度を高める